

# 染谷 治志

SOMEYA, Harushi



教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境情報学研究科環境情報学専攻 (情報システム領域)

URL <http://sites.google.com/site/someyalaboratory/>

E-mail [someya@kankyo-u.ac.jp](mailto:someya@kankyo-u.ac.jp)

■主な担当科目 経営情報論, 経営情報システム入門, 経営シミュレーション

## 研究者略歴

1984 (昭和59) 年 3月	早稲田大学理工学部電気工学科卒業
1986 (昭和61) 年 3月	早稲田大学大学院理工学研究科電気工学専攻修了, 修士 (工学)
1986 (昭和61) 年 4月	(株) 日立製作所システム開発研究所勤務 (～1993年2月)
1993 (平成 5) 年 3月	(株) 日立製作所コンピュータ事業部製品企画本部勤務 (～1995年2月)
1995 (平成 7) 年 3月	(株) 日立製作所システム開発研究所勤務 (～2009年3月)
2006 (平成18) 年 3月	早稲田大学大学院情報生産システム研究科情報生産システム工学専攻修了, 博士 (工学)
2007 (平成19) 年10月	早稲田大学大学院情報生産システム研究センター非常勤客員講師 (～2009年3月)
2009 (平成21) 年 4月	鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科教授
2010 (平成22) 年 4月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授
2012 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学経営学部経営学科教授

■取得学位 博士 (工学) (早稲田大学)

■専門分野 情報システム学, システム工学

## 現在の研究テーマ

### ■Smart Information Systems :

人から情報にアクセスする従来の発想とは逆に、環境の中のコンピュータの方から人間にアクセスを試み、所望の情報を提供したり、状況に応じてアドバイスしたりするなど、人間の状況を的確に理解し、最適な環境を提供する情報システムの創造研究 (人間の行動や状態など日常生活を記録して、生活習慣を可視化し、病気の兆候発見や生活習慣の改善リコメンドなど生活環境をサポートするライフログ応用, Ambient Intelligence (環境知能) 応用やAR (拡張現実) 応用など)

### ■Business Dynamics :

ダイナミックな複雑性が増す社会や経営の問題・課題に対して、さまざまな要素の複雑な繋がりを「システム」として捉え、その構造の全体像を俯瞰し、挙動を分析・理解して、システムの改善や新たなシステムの創造研究 (人間行動のダイナミクス, 成長のダイナミクスや不安定性のダイナミクスなど)

■所属学会 電気学会, 電子情報通信学会, 計測自動制御学会, 情報処理学会

## 研究等活動

### 【論文】

- ・「科目履修登録支援システムの開発」(共著), 平成24年度電気・情報関連中国支部連合大会, 20 Oct. 2012
- ・「Smart Door Plateの開発」(共著), 平成24年度電気・情報関連中国支部連合大会, 20 Oct. 2012
- ・「大学現況情報提供システム「TUESnow」の開発」(共著), 平成24年度電気・情報関連中国支部連合大会, 20 Oct. 2012

### 【学術論文・国際会議論文】

- ・「非ツリー状に接続された証券管理機関における証券移管の経路長と証券保有木の最小化」(共著), 電気学会論文誌C, Vol.126, No.4, pp.506-512, 2006年4月
- ・「疎結合コンポーネント接続方式による銀行営業店システムにおける帳票処理クライアントアプリケーションアーキテクチャの提案」(共著), 電気学会論文誌C, Vol.126, No.1, pp.107-115, 2006年1月
- ・「帳票のイメージデータ化と疎結合コンポーネント接続方式による銀行営業店後方事務処理システムの開発」(共著), 計測自動制御学会産業論文誌, Vol.4, No.12, pp.81-90, 2005年12月
- ・「シナリオベースシミュレーションにおけるシナリオ設定機能の提案」(共著), 日本シミュレーション学会誌論文, Vol.24, No.3, 論24-13, pp.231-238, 2005年9月

### 【国際会議論文】

- ・「Development of a Client Application Architecture Using XML in a Bank Branch System」(共著), IEEE International Symposium on Communications and Information Technologies (ISCIT) 2004, 27PM1D-1, pp.204-209, October 2004
- ・「Scenario Setup Support Functions in Scenario-based Simulation」(共著), International Conference on Electrical Engineering (ICEE) 2004, OC6-1, Vol.1, pp.109-113, July 2004
- ・「Protocol of the Book Entry System based on the Arrival Principle」(共著), International Conference on Electrical Engineering (ICEE) 2004, OE6-1, Vol.1, pp.170-175, July 2004

## 社会貢献活動

### 【学会および社会活動】

- ・2012年11月: 電気学会人間の豊かな活動支援技術の実現化協同研究委員会委員 (現在に至る)
- ・2011年 5月: 鳥取環境大学公開講座2011「情報通信と生活: デジタル化する身近なもの」(於: 鳥取, 米子)
- ・2011年 4月: 電子情報通信学会システム数理と応用研究会委員 (現在に至る)
- ・2010年10月: 電気学会高品質人間活動支援技術共同研究委員会委員 (至: 2012年10月)
- ・2010年 1月: 電気学会高品質生活を達成する科学技術に関する協同研究委員会委員 (至: 2010年9月)
- ・2009年12月: 鳥取県産学官コーディネータ連携推進委員 (至: 2012年3月)
- ・2007年 3月: 電気学会論文委員 (現在に至る)